

製品名: MAFK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85959**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:25-1:50
分子量	17.5kDa

抗原情報

遺伝子名	MAFK
別名	Transcription factor MafK, Erythroid transcription factor NF-E2 p18 subunit, MAFK
遺伝子 ID	7975.0
SwissProt ID	O60675
免疫原	この MAFK 抗体は、ヒト MAFK のヒト領域のアミノ酸間の KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

背景

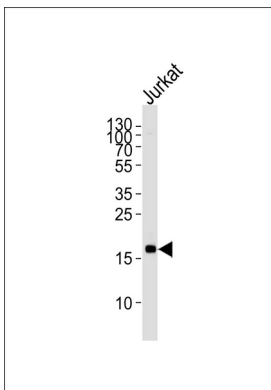
小型 Maf タンパク質は、推定上の転写活性化ドメインを欠いているため、自己二量体形成時には転写抑制因子として作用する。しか

しながら、他の（通常はより大型の）塩基性ジッパータンパク質と二量体を形成し、それらを特定の DNA 結合部位にリクルートすることで、転写活性化因子として機能すると考えられる。小型 Maf タンパク質は Fos とヘテロ二量体を形成し、NF-E2 転写因子の競合的抑制因子として作用する可能性がある。

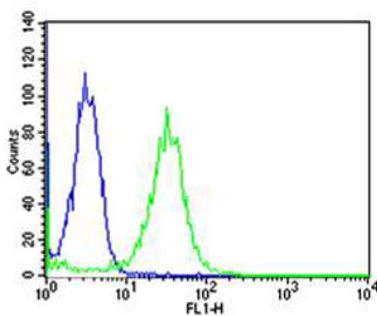
研究分野

-

画像データ



MAFK 抗体を用いた Jurkat 細胞株ライセートのウェスタンブロット解析。MAFK マウスモノクローナル抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセート量は 35 μ g。



MAFK 抗体（緑、カタログ番号 AMM85959）を用いた HeLa 細胞のフローサイトメトリ解析と、マウス IgG1 アイソタイプコントロール（青）との比較。AMM85959 は 1:25 希釈で使用した。二次抗体として、Alexa Fluor® 488 ヤギ抗マウス IgG 抗体（1:400 希釈）を使用した。